

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡水巻看護助産学校
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	13 単位	9 単位	
	助産学科	夜・通信	5 単位	3 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kango-mizumaki.jp/syllabus

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡水巻看護助産学校
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人ホームページ <https://kyoju.ac.jp/financial/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	一般社団法人巨樹 の会 代表理事	令和2年4月1日 ～ 令和6年3月31日	産学連携における 指導、調整及び組織 運営体制のチェッ ク
非常勤	医療法人社団東京 巨樹の会 理事長	令和2年4月1日 ～ 令和6年3月31日	学校運営全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡水巻看護助産学校
設置者名	学校法人巨樹の会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>11月頃より次年度講義計画を立案し、各講師へ講義依頼を行う。 講師には学生からの授業評価をフィードバックし、次年度の講義内容への反映を依頼しシラバスを作成。 学生には、新年度(4月)に当該年度のシラバスを配布し講義内容を公表している。 尚、ホームページでも公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.kango-mizumaki.jp/syllabus
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>成績評価は、講義、実習に必要な時間の出席状況と当該科目の評価により行う。 出席状況については、授業科目の出席日数が3分の2に達していない者は、その科目の評価を受ける資格を失う。 科目の評価は、終講時テスト・レポート・技術テスト等(100点満点)にて行い、優(80点以上)・良(70点～79点)・可(60点～69点)・不可(60点未満)の4段階とし、可以上を合格とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>履修科目の成績評価を点数化(100点満点)し、全科目の合計点の平均を算出したもので成績の順位づけを行っている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.kango-mizumaki.jp/disclosure</p> <p>サイト内「情報提供に関するガイドライン」の「令和3年度情報提供に関するガイドライン」(PDF)において、項目(2)学科の教育「成績の客観的な指標の算出方法」に記載</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>人間性豊かな人格の陶冶と看護師若しくは助産師となるために必要な知識及び高度な技術を専門的に教育し、以て社会に貢献する有能な人材を育成することを目的としており、人材育成に関する目標を定めている。その実現のために、人間教育を基盤にした専門教育を行うための体系的なカリキュラムを構築し、学生に履修に関する教育内容、評価方法を明らかにし客観的かつ厳格な成績評価を行っている。卒業は、本校の履修すべき科目のすべてにおいて単位履修した者に対し、学校運営会議において学校長が卒業を認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.kango-mizumaki.jp/education</p> <p>サイト内「ディプロマ・ポリシー」参照</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡水巻看護助産学校
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	法人ホームページ https://kyoju.ac.jp/financial/
収支計算書又は損益計算書	法人ホームページ https://kyoju.ac.jp/financial/
財産目録	法人ホームページ https://kyoju.ac.jp/financial/
事業報告書	法人ホームページ https://kyoju.ac.jp/financial/
監事による監査報告（書）	法人ホームページ https://kyoju.ac.jp/financial/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科(3年課程 全日制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,015時間/101単位	1,980 /78 時間/単位	0 /0 時間/単位	1,035 /23 時間/単位	0 /0 時間/単位	0 /0 時間/単位
			3,015時間/101単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		228人	0人	13人	77人	90人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 11月頃より次年度講義計画を立案し、各講師へ講義依頼を行う。 講師には学生からの授業評価をフィードバックし、次年度の講義内容への反映を依頼しシラバスを作成。学生には、新年度（4月）に当該年度のシラバスを配布し講義内容を公表している。尚、ホームページでも公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は、講義、実習に必要な時間の出席状況と当該科目の評価により行う。出席状況については、授業科目の出席日数が3分の2に達していない者は、その科目の評価を受ける資格を失う。科目の評価は、終講時テスト・レポート・技術テスト等（100点満点）にて行い、優（80点以上）・良（70点～79点）・可（60点～69点）・不可（60点未満）の4段階とし、可以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業は、本校の履修すべき科目のすべてにおいて単位履修した者に対し、学校運営会議において学校長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要） クラス運営については、クラス集団の把握と生活、学習支援を行っている。 学習の相談、技術演習のチェック等、休み時間、放課後を利用し全教員で対応。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
66人 (100%)	3人 (4.5%)	62人 (93.9%)	1人 (1.5%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 関連病院の説明会の実施、担任による個別指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験 合格率 100.0% (66/66名)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
230人	18人	7.8%
(中途退学の主な理由) 意欲の低下、成績不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 臨床心理士によるカウンセリング。 成績不振者に対し、教員による個別学習支援、個人面接、保護者面接を実施。 経済的困難者に対し、奨学金制度を紹介。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	助産学科(1年課程 全日制)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	960時間/31単位	465	0	495	0	0
			/20 時間/単位	/0 時間/単位	/11 時間/単位	/0 時間/単位	/0 時間/単位
		960時間/31単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
25人		17人	0人	3人	32人	35人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 11月頃より次年度講義計画を立案し、各講師へ講義依頼を行う。 講師には学生からの授業評価をフィードバックし、次年度の講義内容への反映を依頼しシラバスを作成。学生には、新年度(4月)に当該年度のシラバスを配布し講義内容を公表している。尚、ホームページでも公表している。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価は、講義、実習に必要な時間の出席状況と当該科目の評価により行う。出席状況については、授業科目の出席日数が3分の2に達していない者は、その科目の評価を受ける資格を失う。科目の評価は、終講時テスト・レポート・技術テスト等(100点満点)にて行い、優(80点以上)・良(70点~79点)・可(60点~69点)・不可(60点未満)の4段階とし、可以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業は、本校の履修すべき科目のすべてにおいて単位履修した者に対し、学校運営会議において学校長が卒業を認定する。
学修支援等
(概要) クラス運営については、クラス集団の把握と生活、学習支援を行っている。 学習の相談、技術演習のチェック等、休み時間、放課後を利用し全教員で対応。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24人 (100%)	0人 (0%)	24人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院、クリニック			
(就職指導内容) 教員による個別指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 助産師国家試験 合格率 100% (24/24名)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 臨床心理士によるカウンセリング。 成績不振者に対し、教員による個別学習支援、個人面接を実施。 経済的困難者に対し、奨学金制度を紹介。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	250,000 円	800,000 円	250,000 円	
助産学科	500,000 円	800,000 円	700,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
(制度) 「家族入学優遇制度」				
(概要) 当法人が設置する各学校全学科の在校生及び卒業(修了)生の家族が入学した際に、学業の援助を目的とし、入学金を10万円減免する制度。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kango-mizumaki.jp/disclosure		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
①主な評価項目 教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献		
②評価委員会の構成 4名以上 (医療関係1名、卒業生1名、地域関係者1名、業界団体や企業1名)		
③評価結果の活用方法 学校関係者評価により、本校の学校運営・教育活動における課題を明確にし、その意見を参考に次年度の学校運営の改善を図る。責任者は学校長とし、教務部長を中心に3月の次年度教育計画時に改善策を行い、次年度に繋げる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
福岡新水巻病院 看護部長	平成30年9月1日～ 令和4年3月31日	企業等評価委員
水巻町社会福祉協議会 前会長	平成30年9月1日～ 令和4年3月31日	地域住民
北九州市立楠橋市民センター 館長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	公共団体等関係者
福岡新水巻病院 看護師	平成30年9月1日～ 令和4年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kango-mizumaki.jp/disclosure		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kango-mizumaki.jp/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	福岡水巻看護助産学校
設置者名	学校法人巨樹の会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		54人	53人	56人
内 訳	第Ⅰ区分	28人	28人	
	第Ⅱ区分	16人	18人	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				56人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	一人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	一人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	—人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	—人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。